

地域防災力の向上

昨今多発する地震や水害等の災害からひとりでも多くの住民を守るためには、耐震や治水といったハード対策など、行政による災害対策のみでは限界があります。住民による「自助」「共助」が伴うことで、いかに地域の防災力を高めるかが昨今の課題です。

そこで本研修では、講義や演習を通して、次のような項目を重点的に学びます。

【研修のポイント】

- ◆自治体と地域住民が一体となって、いかに地域防災力を高めていくか、その重要性と方法について学びます。
 - ◆事例紹介を通して、自主防災組織や消防団との連携について考えます。
 - ◆演習等により、災害時にいかに的確な判断を下し即座に対応するか、その手法を学びます。
- 皆様のご参加をお待ちしております。

開催要領	日程	平成26年5月14日(水)～5月16日(金) 3日間	
	場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分	
	対象	<p>市区町村等の消防・防災担当職員のほか、民生関係の部門に所属する職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。 途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。</p> <p>※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、かなり実務的な内容となっておりますのでご注意ください。また、申込人数によっては受講をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。</p>	
	募集人数	50人	募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
	経費	10,500円	左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
	申込期限	平成26年4月8日(火)まで	※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応します。
	宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修)	※外泊はできません。
	申込方法	<p>JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。 議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。</p>	
受講決定	<p>受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。</p>		

【問い合わせ先】

財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] http://www.jiam.jp



5月14日(水)

11:00～

入寮受付・昼食

12:40～

入寮オリエンテーション・開講オリエンテーション

13:00～15:35
(途中休憩あり)

【講義】地域防災力の向上

～住民による自助・共助、それを支える行政等による公助の役割と連携～

ひょうご震災記念21世紀研究機構・副理事長

兵庫県立大学防災教育センター長 **室崎 益輝氏**

本研修の基調講義として、住民・行政・中間組織等、それぞれの地域防災の担い手に求められる役割や担い手間の連携の重要性についてお話しいただき、地域の防災力を向上させるために必要な考え方について理解を深めます。

15:50～17:00

【事例紹介】「被災地からの報告

～震災の教訓を生かして～

石巻市総務部危機対策課 危機管理監 **平松 進氏**

東日本大震災後、石巻市では、災害が起きた場合にも地域住民の安全を迅速に確保するために、災害関連情報を一元的に集約・管理し、住民に必要な情報を多様なメディアを通じて配信することができるシステム「ORANGE(オレンジ)」を導入。

震災の経験をもとに、行政として、地域防災力を向上させるための取り組みについてご紹介いただきます。

17:30～

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

5月15日(木)

9:25～10:35

【事例紹介】国分寺市における

“防災まちづくり”の取り組み

国分寺市政策部秘書課長(前:くらしの安全課長) **塩野目 龍一氏**

地域防災において、自主防災組織は大きな役割を担っています。しかし実態は、組織が形骸化していたり、活動がマンネリ化しているといった状況です。

そこで、地域の防災活動を効果的に行うための組織づくりに熱心に取り組んでいる事例をご紹介します。

10:50～12:00

【講義】災害に強い組織づくり

～自主防災組織と消防団を中心に～

総務省消防庁防災課 課長補佐 **原尻 賢司氏**

防災の取り組みの推進には、地域住民が支え合う自助・共助の役割が重要です。そのため、自主防災組織、地域の消防団、婦人(女性)防火クラブ等が一体となって地域の防災体制に取り組む必要があります。

そこで、災害に強い組織づくりと災害時の住民・行政の役割、対応、連携のあり方等についてお話しいただきます。

13:00～15:45
(途中休憩あり)

【演習】ゲーム型教材

～クロスロードで学ぶ災害対応～

神戸クロスロード研究会・神戸市職員 **柿本 雅通氏**

阪神・淡路大震災における神戸市職員の災害対応についての研究から生まれたゲーム型教材「クロスロード」は、地域での防災学習教材として広く取り入れられています。

この演習では、ゲームを通して、災害対応の判断の疑似体験やグループにおける意見交換等により、災害対応の経験や知恵を共有し、災害時の対応を想定しておくことの重要性について考えます。

5月15日(木)

16:00～17:10 【講義】地域における防災体制の構築に向けて

山口大学大学院理工学研究科 准教授 瀧本 浩一氏

地域防災力向上のためには、住民自らが地域の危険箇所を認識し、災害に備えることが欠かせません。

どのような方法で地域住民と協働し防災力を高めていけばよいのか、その進め方やゼロから地域防災を開始するための方法について学びます。

17:10～ 【課外学習】グループ討議

各受講者の自治体における地域防災にかかる取り組み状況や、直面する課題等について、グループに分かれ意見交換を行います。

5月16日(金)

9:00～11:00 【演習】災害図上訓練DIG体験

山口大学大学院理工学研究科 准教授 瀧本 浩一氏

災害図上訓練DIG (Disaster Imagination Game) は、防災教育の演習手法の1つで、地震や風水害などの災害が起きた時に、どのような被害が発生するのかを地図上で想定するものです。

グループごとに地図を囲み楽しく議論することで、起こりうる災害像をより具体的にイメージしながら、地域の特徴や課題をその地図から読み取り、必要な対応を具体的に考える訓練を行います。

11:15～12:00 【演習】グループ討議～防災啓発事業計画の立案～

山口大学大学院理工学研究科 准教授 瀧本 浩一氏

グループごとに分かれ、3日間の研修で学んだことを生かし「防災啓発事業計画」を立案していただきます。

13:00～14:30 【演習】発表・講評・ふりかえり

山口大学大学院理工学研究科 准教授 瀧本 浩一氏

グループごとに作成した「防災啓発事業計画」を発表し、瀧本氏から講評をいただきます。その後、これまでの研修をふりかえり、地域防災力の向上について、受講者の皆さんにそれぞれの考えをまとめていただきます。

14:30～14:40 閉講・事務連絡

- ◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- ◎受講者による授業中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- ◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAM メールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

夏季における軽装について

当研修所では、地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、夏季の期間(5月1日から10月31日まで)は、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での受講を推奨しており、職員も軽装で執務しております。公務研修の場合における服装として品位が保てる軽装で受講してください。

研修所までの交通のご案内

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



【研修所の所在地】





FAXでのお申込みは矢印の方向に

平成26年度 受講申込書

研修名 及び時期	<h2>地域防災力の向上</h2>				
	平成26年5月14日(水)～5月16日(金) (3日間)				
市区町村 コード番号					※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 (例：12345-6の場合、123456と記入)
団体名	都 道 府 県			市 区 町 村 組 合	
所在地 (受講決定 通知送付先)	〒		申込手続の 担当課名		
			担当者名		
			電話番号		
			FAX番号		
			e-mail アドレス		
受講者	所属				
	役職名				
	職階 (○印を記入)	1 部長級 2 課長級 3 課長補佐級 4 係長級 5 主査級 6 主任・主事・技師等級 ※自治体職員の方のみ記入ください。 ※不明の場合は、「6 主任・主事・技師等級」を選択してください。			
	ふりがな				
	氏名				
	年齢 (研修開始日現在)	歳	性別	男 ・ 女	
	本研修関連職務の通算経験年数 (研修開始日現在)			年	ヶ月
NPO等の方	団体の活動内容、行政との協働実績等をご記入ください。				
上記のとおり、研修の受講を申し込みます。					
平成 年 月 日					
団体の長の職 氏名					
全国市町村国際文化研修所学長 あて				公印省略可	

この申込書でご提供いただいた個人情報は、今回の研修事務にのみ使用します。なお、集約した統計データ等は、機関誌などの発行物に掲載することがあります。

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部 **FAX.077(578)5906**